

天真寺門信徒会だより

2005
H17
2月
Vol. 336

「ブツド・バイ」

釋龍哉

「ブツド・バイ」
　　昨年の十二月、天眞寺仏教講座会の皆勤賞・精勤賞の方々に「ブツド

つて私にかえつてくる。「隆弘よ、待つ
つているぞ。心配するな、ゆつくり
来い」うれしいではないか、こんな
安心なことは他にあろうか。わたし
はみんなが待つているところへ帰れ
るのだ。大好きな父の導きによつて
――。と書かれています。

●今月の法語カレンダー●
人間に生まれたのは
如来の本願を 聞くためである
伊藤 庄平 (1927)

伊藤 庄平 (1927~)

宗教というと、一般には神や仏にご利益を祈願する現世利益の信仰を中心にして考えられ理解されています。しかしそれは本当の宗教ではありません。佛教詩人坂村真民さんは本当の信仰、信心といふことについて次のように述べています。「悲しみや苦しみの中から信仰が生まれてくるかもしれないが、信仰のゆきつくところは喜びである。どんなに悲しいことがあつても、どんなに苦しいことが起こつても、それを喜びに変えてゆくのが、本当の信仰であり、信心である」このように述べ、続いて「どうして自分だけがこんなつらい目に会うのであろう、そういう心がいつもどこかにあつて信仰している人があつたら、それはまだ本物ではなく、また本当に仏さまの心がわかつていないのである」私に当てはまる厳しいことばです。ご聴聞を重ねて参りましょう。

二月の行事

- 朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
一緒に勤めいたしましたよう♪

●仏教講座会 2月20日 (日)

午後1時半～法要後茶話会

講師 山下義円師 (岡山県)

婦人の集い 2月12日 (土)

築地ヅツディストホールにて観劇

樋口一葉原作「十三夜」

公演・午後12時～(1時間半)

*申込みされた方は、松戸駅壳
店前に**10時半**待ち合わせです。

千葉組連続研修会

2月13日 (日) 於・高林寺

三月の行事

- 午後1時半～4時半
ヨーガ教室 各午後12時半
2月9日・23日(水)

○真宗教団連合東京支部

- 講師 福田了潤氏・岸弘之氏
(山口県、若住職の京都の学友。)



活動報告

- “ブツド・バイ”一仏のおそばに
まします。たとえ一人になろうとも、
仏はあなたと共にいる。今日一日、
生きてる間は生きている。逢えてよ
かつた。ブツド・バイ！著者の最後
のことばです。自らが「ブツド・バ
イ」の人生を歩み続けられ、私たち
に多くのことを教えて往かれた人だ
ったのだと思いました。（この本に興
味のある方がいたらご紹介します。）

味のある方がいたら、紹介します。)
★1月の仏教講座会では、お正月のお供えのお餅で、温かいおぜんざいを美味しくいただきました。
★婦人部の新年会では、参加の方々と楽しい時間を過ごしました。

天真寺門信徒会だより

2005年3月
Vol.337

「今月のことば」より
法語カレンダーの今月
のことばを味わい、この
「干の風」を思い出しました。これは作者



わたくしはいつも
あなたのことばにいます
だから もうお墓の前で
泣かないとください
わたしは死んでいません
永遠の眠りにぐんぐん
ついてはいません
いつでもあなたのそばにいます

わたくしはいつも
あなたのことばにいます
だから もうお墓の前で
泣かないとください
わたしは死んでいません
永遠の眠りにぐんぐん
ついてはいません
いつでもあなたのそばにいます

春季彼岸会のご案内

日時 3月20日(日) 春分の日
時間 午後1時半より
講師 福田了潤氏・岸弘之氏
(山口県)

お彼岸とは、過ごしやすい春分の日を中心とした七日間に、自分の日頃の生活を省み、眞実(彼岸)に至る道を問い合わせていただく「仏教週間」です。

今回の講師は、今春京都の龍谷大学大学院を卒業したばかりの、若住職の学友の若い僧侶です。どうぞ楽しみにご聴聞ください。多くの皆さまのお参り、お待ちしております。

★お知らせ

5月15日(日)の午後1時からの天真

寺永代經法要では、真宗高田派寺院の坊守さんであり、舞台を中心にテレビでも活躍する舞台女優・保谷果菜子さんによる「金子みすゞのひとり舞台」を公演予定です。どうぞ今からご予定ください、またわりの方々もお誘い下さい。また詳

●今月の法語カレンダー● み仏に どちらを向いても 拝まれている私 廣海 和代(1932~)

京都北山にある梅尾の高山寺に行かれたことはありますか? とても山深い、静かなところです。ここにおられた明惠上人は、木立に囲まれた境内の道ばたにひつそり咲いていたスミレに合掌礼拝をされました。弟子たちがその理由を尋ねますと、上人は「そこに仏さまがおられるでないか。拝まずにはいられない」と答えられたといいます。一輪の花にも、空を飛ぶ小鳥の鳴き声にも、川のせせらぎにも、流れ雲にも、仏を見、仏の声を聞く、そのとき仏さまに囲まれ、仏さまに呼ばれていると感じるのではないでしようか。「弥陀如来は如より来生して、報・応化、種々に身を示し現じたまふなり」親鸞聖人のお言葉です。まわりのあらゆるもののが、私と共にあり、包み、生かしてくれないと気づく時、どんなときにも決して一人ではないことが知られるのです。

三月の行事

●朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時

一緒に勤めいたしましょ♪

●春季彼岸会 午後1時半より

3月20日(日) 春分の日

講師 福田了潤氏・岸弘之氏
(山口県)

●仏教婦人会 一日研修会

3月1日(火) 築地本願寺

「念佛生活にいそしんでますか」

【持物】お念珠、式章

* 参加の方は、9時半に松戸駅

四月の行事

●婦人の集い 3月10日(木)
お手玉作りをします。皆さんで
楽しみながら致しましょう。

●真宗教団連合東京支部

3月11日(金) 結成記念大会
講師 上田紀行師
(『がんばれ仏教』著者)

3月9日・23日(水)
ヨーガ教室 各午後12時半

わたくしに会いたくなつた時
あなたたの周りをくるくるまわる
夜には星がそっと光っています
あなたたは大ききいのちに
つままれているのです

ナモアミグブツと呼んでください

天真寺門信徒会だより

2005
H 4
Vol. 338

地面(じべた)を速くは走れない。

大羽鱈(おおばいわし)の
大漁だ。

私がからだをゆすつても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように
たくさんの唄は知らないよ。

一昨年ですか、『世界にひとつだけの花』という曲が大

変流行しました。「ナンバーワンにならなくともいい、も

ともと特別なオンリーワン」。人はそれぞれ。そのそれぞ

れのいのちが輝き合つてこそすばらしいんだよ、ととても

大切なことを思い出させてくれた。だからこそこの曲はこ

れほど多くの人に愛されたのでしょう。『阿弥陀経』には、

大切なことを思い出させてくれた。だからこそこの曲はこ

四月の行事

●今月の法語カレンダー●

念仏は わが家のきずな

御同朋への道しるべ

高井 正信 (1928~)

五月の行事

- 永代経法要・門信徒会総会
- 【門信徒会総会】午前十一時
- 【永代経法要】午後一時
- 【講演】金子みすゞひとり舞台
- みのり会研修会
- 五月二十一日(土)

【金子みすゞひとり舞台】に寄せて

『私と小鳥と鈴と』

私が両手をひろげても、
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、

さしいそのこころが、小さなものへ
の、名もないものへの想い、いのち
への想いとなつていくつもの作品を
生み出したのです。

『大漁』

朝焼小焼だ

大漁だ



「天真寺門信徒会・婦人会旅行」参加者



活動報告

★春季彼岸会では、若住職の学友である若い僧侶お二人にご法話いただきました。「お話を聞いていたので育てられる、とよく言われるけれど、本当にそのことを実感しました」と皆さんとの縁をよろこんで下さいました。

「みすゞの宇宙」といわれるその作品に触ることによって、みすゞの出会った親鸞聖人のみ教えに、私も出会わせていただきましょう。来月号にもみすゞの詩を紹介します。

浜は祭りの
ようだけど
海のなかでは
何万の
鰯のとむらい

するだろう。

五月二十七日(金)～二十八日(土)親鸞聖人ゆかりの西念寺を訪ねる旅行が決定しました。温泉に美術館にと、皆さんで親睦をはかり、楽しく参りました。詳しくは別紙をご覧下さい。

天真寺門信徒会だより

2005
H17月
Vol. 339

お友だちは笑ふの。

私がさびしいときに、
お母さんはやさしいの。

金井 隆久 (1968~)

●今月の法語カレンダー●

私はしばしば 仏を忘れるが

仏は私を忘れない

京都女子学園の創立に尽力された甲斐和里子さんが

八十一歳のときに語られた文章があります。

泣きながら御戸を開けば御仏は

たゞうち笑みてわれを見そなわす

「オ、エライ事が出来たのう、可哀想につらか

らうが、わしが始終いふ通り娑婆じやからのう、

しかたがない。まあしばらくの間じや辛抱せえよ」

と仰せらるゝやうに感ぜられ、（後略）

どんな時も忍耐強く泣きごとを言わず、仏さまに胸の内を告白し、乗り越えてこられた一生だったのでしょうか。たとえ私が忘れようとも、仏さまは決して私を忘れない。私たちもつらく悲しい時、苦悩の時、仏さまの前に座りお念佛いたしましよう。きっとそのお顔は静かに微笑んで見えることでしょう。

五月の行事

- 朝の日曜礼拝 毎日曜朝七時
- 一緒に勤めいたしましよう♪
- 永代経・門信徒総会

五月十五日 (日)

【門信徒会総会】午前十一時

【永代経法要】午後一時

【講演】金子みすゞ一人舞台

【門信徒会・婦人会旅行】

五月二十七 (金) ~二十八日 (土)

○親鸞聖人ゆかりの寺を訪ねてく

みのり会研修会(婦人の集い振替)

親鸞聖人「降誕会」参拝

私がさびしいときに、

よその人は知らない。



- * 参加の方は、九時松戸駅売店前で待ち合わせです。
- ヨーガ教室 各午後十二時半
- 五月十一日・二十五日 (水)

六月の行事

- 朝の日曜礼拝 每日曜朝七時
- 一緒に勤めいたしましよう♪
- 永代経・門信徒総会

五月十五日 (日)

【門信徒会総会】午前十一時

【永代経法要】午後一時

【講演】金子みすゞ一人舞台

【門信徒会・婦人会旅行】

五月二十七 (金) ~二十八日 (土)

○親鸞聖人ゆかりの寺を訪ねてく

みのり会研修会(婦人の集い振替)

親鸞聖人「降誕会」参拝

私がさびしいときに、

よその人は知らない。

●永代経法要のご案内

●日時 五月十五日 (日)

●時間 門信徒会総会 午前十一時

●講演 永代経法要 午後一時

(詳しく述べておきます)

「永代経」とは、「お寺が存続し、

み教えが繁盛し続けるように」とい

う願いが込められた法要です。ぜひ

お参り下さい。また法要前には門信

徒会総会が行われます。こちらにも

ご参加をお願い致します。

●門信徒会・婦人会旅行のお誘い

五月二十七 (金) ~二十八日 (土)

親鸞聖人ゆかりの寺を訪ね、美術館

・温泉等をまわります。天真寺門信

徒の親睦を深め、楽しく参りましょ

う。参加費一人二万二千円。申込五

月二十日まで。多くの方のご参加お

待ちしています。詳しく述べてお寺まで。

ということはあり得ない。もし辛いこと

がある、辛いことがなくなると思つたら、

それは本質がなくなつてしまふのです。

辛いことは残るのです。ただ、受け取る

こちらが、辛いこと「で」なくなるかど

うか：それが宗教の考え方です。

私のところにそつと寄り添い、眞実の

ことを優しく教えてくれるのが、みすゞ

さんの詩です。この機会にぜひ仏さまの

優しいまなざしに見つめられて、私は生

かされているのです：・とうたわれるみ

すゞさんの詩の世界に触れ、共に仏さま

の大慈大悲のなかにあるよろこびを味わ

せていただきましょう。

「私は、ずっと、悲しくて悲しくて、人がどんなに慰めてくれても、まったく聞く気がありませんでした。どこへ行つても、そういう話を聞いても、それはもう私の中で受け付けなかつた。でも金子みすゞさんとの詩に出会つた時に、はじめて、私は変わつたのです。この世の中つて、素敵なことがたくさんあるのに、その悲しいことだけでいっぱいでした。でも、みすゞさんの『さびしいとき』を読んで、「私が悲しきさびしいときに仏さまはさびしいの」という一行に出会つた時、「私が悲しんでいれば仏さまは悲しいんだ」って気づいた時に、「私は楽しく生きなければ。そのことによつて仏さまが楽しくなつてくれる。：あの子が楽しく、喜んでくれるだろう」と思えるようになりました。」と書かれていました。

これは、みすゞさんの詩を読むと、悲しいことや辛いこと「が」なくなるのでなくして、辛いこと「で」なくなるといふことです。辛いこと「が」なくなる

天真寺門信徒会だより

2005
H17月
6 Vol. 340

- 朝の日曜礼拝 每日曜朝七時
一緒にお勤めいたしましよう♪
●朝の日曜礼拝 每日曜朝七時半
講師 安間秀常師（山口県）
法要後は、茶話会です。
●婦人の集い 六月十日（金）
親睦会です。幕張「マジックガーデン」
でのお食事会。（参加費千円）
●十時半に新人柱駅改札（武蔵野線）
で待ち合わせです。

- ヨーガ教室 各午後十二時半
●婦人の集い 七月八日（金）
●○仏教講座会 七月二十日（水）
●○婦人の集い 七月八日（金）

六月の行事

*十時半に新人柱駅改札（武蔵野線）で待ち合わせです。

七月の行事

●今月の法語カレンダー●

聴聞は 他人ごとを
自分のことだと 教えてくれる
篠直（1952～）

先月末門信徒旅行で栃木県の『富弘美術館』を訪れました。星野富弘さんは、体育教師の時の事故で手足の自由を失いました。しかしその苦しみを乗り越え、今では美しい色彩の絵と詩で多くの人に感動を与えてています。これは富弘さんの詩の一つです。

役割を果し

今まさに 散ろうとしている花
そのとなりでは 開きかけたつぼみ

ひと枝の椿 大自然の縮図

私たちは仏法を聴くことを通して、大自然の営みの中に生かされているいのちの一つである「私のすがた」に気づかれます。「ひと枝の椿」に「私のすがた」を重ねてみると、聴聞によって、他人ごとではない、すべてが自分とつながる世界が開かれてくるのです。

各寺から数名ずつ参加し、二年でわたり二ヶ月に一度、県内のお寺をまわる勉強会、「千葉組連続研修会」が行われています。その修了者を対象とした京都での「門徒推進員中央研修」に天真寺から初めて市川の小林繁夫さんが参加し、その感想をお寄せ下さいました。

門徒推進員中央教修に参加して

三月上旬に京都本願寺聞法会館での第一六六回中央教修に参加させていただきました。今回の参加者は全国から四九名。教修終了者はすでに六千名を超えているそうです。

教修内容は「話し合い法座」を

中心に、宗門の基幹運動、門信推進員とは、仏事作法、仏教讃歌などを学びました。

「話し合い法座」を

は連続研修会で経験しましたが、中央教修では三泊四日の短期間に

四題の法座が集中して持たれたことで参加者の親近感もすぐに生まれたようですが、ご講師が助言者として加わって下さったことなどによ

うに思います。

印象深かったことは「示談」というご講師と一人づつ三十分じっくりお話しできる時間があつたこ

とです。また参拝会館で「決意表明式」がありました。阿弥陀様の

前で一人ずつ法名を名乗り門徒推進員としての決意を述べるものでした。が、照明を落とした莊厳な雰囲気の中でちょっと緊張しました。

式が終わり退出しますとご講師スタッフの皆様が盛大な拍手でむかえて下さり不思議な感動をおぼえました。

今回の教修に参加して得られたことは浄土真宗のみ教えに学び、み教えを伝えていくこうとされる御同行御同朋のお仲間が沢山いらっしゃるという事、その熱意に触れ、交流できることでした。

楽しく貴重な経験でした。このご縁をいただきましたことをご住職様はじめ皆様に感謝申し上げます。

活動報告

★五月十五日（日）午前には「門信徒会総会」（裏面総会報告）

が、午後には「永代経法要」が無事終わりました。今年は「金子みすゞひとり舞台」



が上演され、大変な熱演に感動し、皆さんに喜んでいただきました。また夜には役員さんの親睦会を行われました。皆さんご協力ありがとうございました。



天真寺門信徒会だより

2005
H17月
7 Vol. 341

「お盆のいわれ」

困ったときの神頼み。「カミさまお願いく。」「けれど

これは本当の合掌ではないらしいですよ。手のひらの「シワ」と「シワ」を合わせて「シアアワセ」、つまり「シアワセ」になるということ。ただの語呂合わせで

すが、でも手を合わせると他のことが何もできなくなりますね。ケンカもできないし、いいことも悪いこともできない。そこで自分の心を静かに振り返る。「ありがとうございます」や「ごめんなさい」の心が生まれて素直になれる。これが「シアワセ」の種なのがもれません。お念仏とは、手を合わせ心静かにすると聞こえてくる仏さまのよび声です。「南無阿弥陀仏：決して一人じやないよ、支えられて生かされているんだよ。」今までの当たり前が当たり前でなくなってくる世界、初めて見えてくる世界があります。

お念仏してどんな自分の心が見えてきましたか？

かれた物語に基づき営まれる仏事です。お釈迦さまに目連という高弟がいました。大変心の優しい人で、いつも亡くなつた母親を心配していました。しかし神通力をもつてたずねると、餓鬼道（むさぼりの世界）で、苦しついでいる母親の姿を発見しました。母親は生前他人に施しをしなかつたため餓鬼道に墜ちたのです。しかしそれもこれも自分を育てるため、食べさせたのがための母性愛のせいであつたと、目連は泣きました。そしてお釈迦さまの教えにより、大勢の仏弟子たちにご馳走をし、救われていった、というものであります。私たちは日頃、自分が自分が：・とさまざま縁を忘れていました。しかし私につながるご先祖、もつと広くはすべてのいのちにつながる仏さまのおかげによつてこの私が今生かされていります。そのいわれを聞くなまに思わず、思わず歎嘆の声が漏れ出ました。

茨城県稻田の「西念寺」は、宗祖親鸞聖人が越後への流罪を赦された後、二十年間布教伝道につとめられ、浄土真宗立教開宗の書『教行信証』を著されたお寺です。親鸞聖人が長い間ご苦労を重ねられた稻田の地を、皆さんとお参りし、大変ありがとうございました。

● 今月の法語カレンダー ●

念仏は 私の心を

照らし出す鏡

光山 道潤（1970～）

七月の行事

● 朝の日曜礼拝 每日曜朝七時
一緒に勤めいたしましょ♪
(正信偈和讃繰読み・御文章)

● 仏教講座会
七月二十日（水）午後一時半
お参り・法話・茶話会
講師 加戸利円師（東京都）
楽しく分かりやすいお話をします。

皆さんが楽しめる簡単な「盆踊り」を教えていただきます。

○ 千葉組連続研修会 八月七日（日）

八月の行事

● ヨーガ教室 各午後十二時半
七月十三日・二十七日（水）

○ お盆のご案内
八月十六日（火）
新盆法要 午前十時半～十二時
孟蘭盆会法要 午後一時半～三時
講師 北畠晃融師
(京都 中央仏教学院長)
今年から午前が新盆（亡くなつて初めてのお盆）法要になります。
どうぞ参拝をご予定下さい。

今年の新盆は、午前が新盆（亡くなつて初めてのお盆）法要になります。私たちも日頃、自分が自分を育てるため、食べさせたのがための母性愛のせいであつたと、目連は泣きました。そしてお釈迦さまの教えにより、大勢の仏弟子たちにご馳走をし、救われていった、というものであります。私たちは日頃、自分が自分が：・とさまざま縁を忘れていました。しかし私につながるご先祖、もつと広くはすべてのいのちにつながる仏さまのおかげによつてこの私が今生かされていります。そのいわれを聞くなまに思わず、思わず歎嘆の声が漏れ出ました。

活動報告

救われた目連の母親の姿に、思わず歎嘆の声が漏れ出ました。今年の婦人会ではこれに簡単な「盆踊り」を教えていただきます。

天真寺門信徒会だより

2005
H17月
8 Vol. 342

盂蘭盆会法要のご案内

暑中お見舞い申し上げます。

天真寺門信徒の方々におかれましては、慈光のもと、お健やかにお念仏相続のこととお慶び申し上げます。

さて、本年度の天真寺「盂蘭盆会法要」を左記の通り厳修致します。なお、同封の「法名簿」は、「記入の上當寺宛にご送付下さい。」とあります。当日ご参詣の折ご提出下さいますようお願い申し上げます。皆様のご参詣をお待ちしております。

記

● 今月の法語カレンダー ● 善人になるより 悪人と気づくのは 難しい 勝見 昭造 (1927~)

本願寺第八代のご門主であつた蓮如上人は、「人のわろきことはよくよくみゆるなり。わが身のわろきことはおぼえざるものなり。」とおっしゃっています。ちなみに蓮如上人のお顔を知りたい方は、お仏壇の左側の掛け軸を見て下さい。

ご絵像が掛かっています。お顔が見えましたか? 私たちはあの人は意地が悪い、この人は嘘つきだ、そつちの人はケチだ見栄張りだと、他人のことばかりが目につきます。他人の落度・欠点・弱点や短所を見る時の自分の視力は○○○○一だそうですよ。皆さんは心当たりはありますか? 自分の本当の姿を知る: «これは本当に難しいことです。とにかく聴聞聴聞。仏さまは私の心の内もすべてお見通しです。ご法話を聞くなかで気づかせていただきましょう。»

【日時】 平成十七年八月十六日(火)

「新盆法要」(亡くなつて初めてのお盆を迎える方)

午前十時半～十一時

(ビデオ上映)『仏典物語 お釈迦さま』十一時半～(本堂)
「孟蘭盆会法要」(一般の方)

午後一時半～三時

【講師】 本願寺中央仏教学院(京都)
院長 北畠晃融師

ご提出下さいました「法名簿」は、一年間尊前にお供えし、明年お返しいたします。(昨年分の法名簿を同封しております。)

● 八月の行事
朝の日曜礼拝 毎日曜朝七時
一緒に勤めいたしましよう♪
(正信偈和讃繰読み・御文章)
お盆のご案内
八月十六日(火)
新盆法要 午前十時半～十二時
孟蘭盆会法要 午後一時半～三時
講師 北畠晃融師 (京都 中央仏教学院長)
今年から午前が新盆(亡くなつて初めてのお盆)法要になります。
ご都合に合わせて、どちらにもご自由にお参り下さい。

● 九月の行事
八月八日(月)～十日(水)
場所「宇都宮冒險センター」
千葉組連続研修会
八月七日(日)於・正満寺(柏)
ヨーロッパ教室 八月はお休みです。

● 九月の行事
八月九日(金)午後一時半
お参り・法話・お経勉強会
○婦人の集い
九月九日(金)午後一時半
お参り・法話・お経勉強会

天眞寺門信徒会だより

2005
H17月
Vol. 344

「国際真宗学会」に
参加して



が印象的であります。しかし、本人謂く、「とても緊張した」とのことあります。

ハワイの十代の少年と話す機会がありました。「あなたの宗教は何ですか」との質問すると、すかさず「I am a Buddhist」(私は仏教徒です。)と答えた。時代の流れを象徴して、「流動する世界と浄土教の可能性」というテーマのもと、ご門主をはじめ、アメリカ・フランスなど全世界からたくさんの学者の方々が参加されました。英語や中国語などさまざまな言語が飛び交い、外国に来ているようなフンイキでありました。「国際真宗学会」ということで、ほとんどの方が、英語でのスピーチであり、英語に不慣れな私は、あつという間に時間が過ぎてしまいました。

今学会では、著名な先生方が発表される中、天眞寺長女・静香が「阿弥陀経」「諸上善人」の解釈について」という題目で発表を致しました。色々な先生に見つめられる緊張の中、いつものように流暢に緊張せずに発表をしているようであり、先生からの質問にも臆せず返答をしている姿

● 今月の法語カレンダー ● どこまでも 逃げるわたしは 慈悲のなか 金原 瓜子 (1947~)

今月の言葉はまさにこの私のこと、と感じました。仏教に興味を持たない私たち姉弟三人を中心配した坊守(母)から、長女の私が「京都の仏教学院に行つて勉強してみたら」と勧められました。当時就職したばかりで迷いましたが、お寺に生まれたご縁があつてこそ!と決意し、京都での新しいスタートとなりました。その間沢山のいい師友に恵まれ、今につながっています。「をがむ手、となふる口、信ずるところ、みな他力といふなり。」お聖教の言葉です。「他力」とは、迷い苦しむ私たちを見かねてはたらいで下さる仏さまの慈悲のはたらきです。仏法を聴かず逃げる私も、仏さまの大きな慈悲のなかで育てられていました。

十月の行事

- 朝の日曜礼拝 毎日曜七時
- 仏教講座会 二十日(木)午後一時半
講師 本願寺布教使 深水正道師(岡山県)
- 婦人の集い 「みのり会一日研修」 十四日(金)千葉教育会館
- * 午前九時に新八柱駅改札口(武藏野線)で待ち合わせです。
- お経練習会 十五日(土)午後四時

十一月の行事

- アソカ園ボランティア 十一日(火)
* 午前十時半に新八柱駅改札口(武藏野線)で待ち合わせです。
- 京都念佛奉仕旅行 十月四日(火)~六日(木)
講師 本願寺布教使 深水正道師(岡山県)
- 婦人の集い 「みのり会一日研修」 十月十二~二十六日(水)
- 報恩講・門信徒会入門式 二十三日(水)勤労感謝の日
- 婦人の集い 築地報恩講参拝



次回は2007年カナダのカルガリー大学での開催になります。
(若住職 龍哉)

天真寺門信徒会だより

2005 H17月
11 Vol. 345

●今月の法語カレンダー●

ねんぶつ
念佛をいただいて

生死を超える よろこびを知る

小林 浄子 (1915~)

手はなくも 足はなくとも
み仏の 袖にくるまる 身は安きかな

中村久子さんの詩です。先月の念佛奉仕団で
は飛騨高山のゆかりのお寺を訪ねたそうです。

両手両足を四歳で失いながらも、「手が短くとも、
足が無くとも、生かされている、そして残つて
いる肉体の部分に心から感謝して、その残つて
いる部分を立派に生かして行くことこそ、“無碍
の一道”——すなわち念佛の道ではないかと語ら
いました。佛教で「生死」とは「迷い」のこととい
います。生死などさまざまのことに対する心
から私たちの迷いが生じます。
足りないものを数えるのではなく、あるもの
をよろこび感謝し歩む人生を教えられます。

十一月の行事

●朝の日曜礼拝 毎日曜七時
おみがき

五日(土)十時～三時

年に一度のお寺の大掃除で
す。ご協力お願い致します!

報恩講

二十三日(水)勤労感謝の日

十一時半 門信徒会「入門式」

十二時 お斎(昼食)

一時半 法要
法要
雅楽ミニ演奏会

十二月の行事

●婦人の集い
十四日(月)築地報恩講参拝
*午前九時に松戸駅構内の売店
前で待ち合わせです。

●お経練習会
十九日(土)三時～五時

○宗教講座会 二十日(火)
○婦人の集い 八日(木)

「報恩講」ご案内

親鸞聖人ご命日の法要

講師 京都・龍谷大学講師

玉木興慈師(大阪)

今月の婦人会では十四日(月)に築地本願寺の「報恩講」を参拝し、午後は秋を満喫し楽しめます。

どうぞご参加下さい。



(九時に松戸駅集合)
築地本願寺「報恩講」参拝

築地市場場外 お寿司ランチ
「浜離宮恩賜庭園」散策

【日時】
十一月二十三日(水)
勤労感謝の日

活動報告

★先月は、千葉市での「婦人会一日研修会」に十三名、築地本願寺での「教区総代会」に三名がご参加下さいました。皆さんお疲れ様でございました。

★先月は、千葉市での「婦人会一日研修会」に十三名、築地本願寺での「教区総代会」に三名がご参加下さいました。皆さんお疲れ様でございました。

★「報恩講」は浄土真宗で一番大切な法要です。

天眞寺、築地本願寺にもぜひご参拝下さい。仏法を聴く大切な縁に致しましょう。

天真寺門信徒会だより

2005
H17
12月
Vol. 346

天真寺永代合葬墓 完成のご報告

京都の東山「大谷本廟」に、天真寺の永代合葬墓が完成致しました。



【冥加金】
永代納骨 三十万円より
永代分骨 十五万円より
＊永代懇意込です。後の管理料などは一切かかりません。

*三十三回忌までは分骨棚にて保管、以後は合葬となります。

お墓でお困りの方、納骨希望の方、どんなことでも結構です。詳しいことはどうぞお寺までお尋ね下さい。

●今月の法語カレンダー●
光に 照らされることによって
心の 間の深さがわかる
里見 淳英 (1954~)

「西原さんは、どうしてお寺に生まれたか分かりますか」仏教の授業中に尋ねられた質問です。先生は「それは阿弥陀さまがあなたをそばにおかないといと、心配だと思うからですよ」と答えられました。要するに、私はそれほどヒドい人らしいのです。今月のことばは、仏法を聞くことによつて本当の自分が見えてくるんだよ、と教えて下さっています。財欲・名譽欲・食欲……欲まみれのすがたは、自分では気づくこともできません。

光一阿弥陀さまのはたらきは、心の闇の深さに気づいてこそありがたいのですね。

十二月の行事

○朝の日曜礼拝 毎日曜七時
○仏教講座会

前住職三回忌法要

二十日(火)午後一時半より
終了後は忘年会です。

成道会布教大会

八日(木)築地本願寺
門信徒会・婦人会合同で築地
本願寺に参拝します。

○第二回お経練習会
十八日(日)三時~五時

○元旦会
十四/二十一日(水)十二時半
○ヨーガ教室
来年一月の行事

一日(火)午後二時より
一年の始まり、

初参りはお寺へどうぞ。

○婦人の集い「新年会」
十日(火)午前十一時より
○仏教講座会

二十日(金)午後一時半より



永代納骨者

十一月二十六日(土)

釋正念・雅亮院釋治定

十一月二十七日(日)

最勝院釋晃悦・釋明了

